



深草徹の「ここがポイント」

2019年を輝かしい年に

深草 徹



19世紀のドイツを代表する哲学者ヘーゲルは、その著『法の哲学』の序文で、「理性的なものこそ現実的であり、現実的なものこそ理性的である」と述べています。

この言葉を私なりに解釈すると、社会的現実とは、社会の深部における対立・矛盾の統一として発現するものであり、歴史の進歩は、その対立・矛盾を原動力として達成されるものであること、だからそうした対立・矛盾を、正しく認識しなければならない、ということにあるように思われます。

さて、2017年5月3日の憲法記念日に安倍首相は、憲法9条1項、2項をそのまま残し、新たに自衛隊の存在を明記する条項をもうける、2020年を新しい憲法が施行される年にしたい、とブチあげましたが、自民党は1年半余り経った現在に至るも、衆参両院の憲法審査会において、改憲素案の提起さえできていません。

これは、自民党など改憲勢力と改憲を阻止しようとする私たち9条の会をはじめとする、国民の反対の声と力との拮抗点の位置を示している、と言ってよいでしょう。

しかし、この拮抗点は常に動きます。

年あらたまり、2019年、安倍改憲を断念に追い込む、輝かしい年にしたいものです。

(深草憲法問題研究室主宰、九条の会・ひがしなだ共同代表)

九条の会・ひがしなだ憲法学習会

上脇教授 安倍「改憲4項目」の実体は「7項目」と指摘

12月16日(日)魚崎西町会館で、九条の会・ひがしなだの憲法学習会が開催され、講師の上脇博之さん(神戸学院大学法学部教授)が「安倍【壊憲】と国民投票の“ワナ”」と題して講演しました。上脇教授は講演で、安倍改憲「4項目」は、実体は①第9条を骨抜きにする改憲、②教育への国家介入を「合憲」にする改憲、③私学助成が違憲でもないのに改憲、④緊急事態における内閣への立法権付与の改憲、



⑤緊急事態における国政選挙の延期の改憲、⑥国政選挙における“投票価値の平等”を犠牲にできる改憲、⑦道州制を許容する改憲の「7項目」だと指摘しました。

そして国民投票になった場合、表・裏カネの力で「改憲が『買われる』おそれ」があることを強調し、その前に阻止することが重要だとのべました。かなり難しい内容だったにもかかわらず、講演後の質疑応答では、50名近くの参加者から多くの質問が出され、上脇教授は丁寧に答えられました。

檻で何を守る？～基本的人権の中核＝自由権

椋 大樹

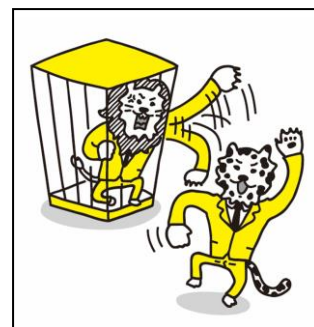
憲法(檻)がなかった時代、私たちは、権力者(ライオン)を怒らせないように気を遣って生活していたものです。専制政治、独裁政治では、私たちは権力者から何をされるかわかりません。

私たちが人間らしく暮らしていくためには、まず、私たちがすることに国家権力が口を出さないこと、私たちが「国家権力から自由」であることが大切です。

国家権力(ライオン)を憲法(檻)で縛ることで、私たちは自由にしたいことをすることができます。ライオンが私たちに吠えかかってこないのは、檻があるからです。日本国憲法には様々な人権規定がありますが、大きくグループ分けをすると、いちばん重要なのは、この「自由権」です。

次回から、日本国憲法が保障する様々な「自由」を解説していきます。今、私たちは様々なことを自由にすることができます。今の「当たり前」は、日本国憲法によって当たり前になっているのです。参照『檻の中のライオン 憲法がわかる 46のおはなし』椋大樹著(かもがわ出版)。

(はんどう・たいき、明日の自由を守る若手弁護士の会、ひろしま市民法律事務所)



特別寄稿

過労死した私の愛する息子

前田 和美

私の息子・前田颯人(まへだ・はやと)は、高卒入社2年目の6月、20歳にして突如、この世を去りました。神戸を代表する老舗製菓会社・ゴンチャロフでの、上司からの執拗なパワハラと過重な超過勤務による鬱を発症しての、投身自殺でした。

入社間もなく、挨拶無視から始まったパワハラは、毎日のようにみんなの前で怒鳴り、人格をも否定するものになっていきました。定刻30分以上も前に出社しても、社長出勤などと、いわれのない罵倒をされ、耐えかねて退職を願い出ると、お前の卒業校からは、人は取らないと脅され、辞めることもできませんでした。

鬱を発症した頃は、時間外労働が月89時間から109時間。まともな昼食さえ取れませんでした。このような、いわゆる「ブラック企業」がある限り、過労死は無くなりません。

労災認定は得ましたが、過労死遺族の悲しみ、苦しみは言葉では言い表せないほどのものです。これからの日本を担う大切な命を守るための取り組みを、今後も続けて参ります。

どうか皆さん、ご協力をお願いいたします。

(兵庫過労死を考える家族の会、芦屋市在住)

憲法と生活の関わりを

吉江 仁子

明日の自由を守る若手弁護士の会兵庫支部（あすわか兵庫）では、去る9月29日、兵庫県民ホールで、前川喜平さん講演会「個人の尊重、幸福追求の権利と教育基本法」を開催いたしました。

前川さんのお話は、多岐にわたりましたが、教育現場における個人尊重主義と全体主義のせめぎあいのお話は、興味深いものでした。前川さん曰く、「戦後、憲法の理想を教育によって実現するために、教育基本法が誕生したが、国家のための教育を長年続けてきた現場は、直ちに変わることはできず、運動会での軍隊式入場行進など、国家のための教育の名残りは、今でも随所に見られる。しかし一面、個人尊重主義の教育も根づいており、現場では今もせめぎ合いがある・・・」と。

憲法改正が、いつ発議されるか分かりません。今後もっと、憲法カフェなど、憲法と生活の関わりについて考え合えるような機会を、数多く作っていききたいものです。

（あすわか兵庫事務局長 あいおい法律事務所）

法廷レポート

HPV ワクチン訴訟に注目を！

久一千春



子宮頸がん予防のため、と国が積極勧奨した HPV ワクチン。このワクチン接種後、身体に異変が起き、思い描いていた学校生活が送れなくなった少女たち。頭をハンマーで殴られたような痛みや、光が眩しく目を開けられなかったり、記憶障害など、自分の身体に起きたことを、涙を拭いながら法廷で訴えました。

子宮頸がんの原因ウイルスである HPV(ヒトパピローマウイルス)は 100種類以上。

そのうち子宮頸がんを引き起こす可能性の高いものが 15 種類。ワクチンによって予防できるのは、16 型と 18 型の 2 種類だけです。

定期検査で早期発見することで、子宮頸がん発症は防げることも分かっています。なぜ国は、積極的に勧奨したのでしょうか。今後も裁判を見逃せません。

もとの身体に戻して欲しい、治療方法を見出して欲しい、と訴え続けている少女たちの声に、国と製薬会社は、真摯に向き合ってもらいたいです。

（未来の社会を考える仲間たち、神戸市東灘区在住）

催し案内

前川喜平さん講演会 教育と憲法を語る

日時 1月18日(金) 18:30～
会場 川西市栄町25-1 アステホール
講師 前川喜平さん
主催 全国市民アクション川西実行委員会
問合せ 今西 (090-7097-9059)

沖縄スパイ戦史 上映&三上知恵監督トーク

日時 2月17日(日) 13:30～
会場 兵庫県農業会館11階大ホール
主催 九条の会・兵庫県医師の会 市民企画
問合せ 兵庫県保険医協会 (078-393-1801)
兵庫県民医連 (078-303-7351)



わたしのひと言

BTS(防弾少年団)に学ぶ

兵頭憲一

B T S (防弾少年団) という音楽グループがいる。韓国人の若者たち、いわゆる「K-POP」で、日本でもかなりの人気がある。米ビルボードで、アジア人初のチャート1位を獲得した彼らが、最近、別の意味で「話題」になった。プライベートで着ていたTシャツのデザインなどが問題とされて、テレビ出演がキャンセルになる騒ぎだったが、全体としては、徴用工判決への反発で起きた「嫌韓」の人たちによるバッシングと言える。

注目すべきは、日韓の音楽ファンが交流しながら、バッシングに反撃している姿だ。音楽への純粋な愛から歴史を学び、デマに反撃する。韓国のミュージシャンは、政治的意識が高く、元「従軍慰安婦」の支援をしていたりする。日本でのバッシングから、逆に問題に関心を持ち、支援に参加しようというファンも出てきているようだ。(2018・11・24記)

(ミュージシャン 九条の会. ひがしなだ世話人)

住吉山手から

ショッキングな話

公庄 れい

去る11月30日、神戸学生青年センターで「世界から見た日本を語る～メディア・ジェンダー・貧困」という会があった。

講師は、イギリス在住の藤田早苗さん。国連人権機関に関わってこられ、現在、エセックス大学人権センターフェローという方であった。

冒頭に、女性の人権に関することの例として出された、ジャーナリスト・伊藤詩織さんの強姦被害者としての話に、私はショックを受けた。私が全くその事件を知らなかったことに、驚いた。

私は新聞を読まず、パソコンも持っていない。テレビは毎日、ゴシップまがいの情報を、これでもかという程しつこく、各局とも報道している。しかし、この事件は取り上げられなかったようである。

何故なの？私が最もショックを受けたのは、伊藤さんが被害を訴え出た、警察の対応である。女性の警官を、と望んだ彼女に対応したのは、二人の男性警官。マットレスに彼女を横たわせ、男性の人形を彼女に被せて、具体的な状況を調べたそうである。

あまりにも無神経。この国に、女性の人権は無いのか！！

(孫たちの将来を案じるお婆ちゃんの会)

カンパの郵便振替口座

口座記号 00900-6
番号 0217129
名義 九条の会. ひがしなだ



編集後記
この秋の臨時国会に自
民党の改憲案を提示する
と意欲をみせ、その態勢
を整えていた安倍首相で
すが、ついに臨時国会に
提示することはできませ
んでした。
来年の通常国会がいよいよ
正念場となりますが、
気をひきしめていきたい
と思います。(N生)